

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 28.3.9 第 190 回国会第 2 号

3月9日(水)、第2回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・ 馳文部科学大臣、遠藤国務大臣(東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当)、大岡財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

門 山 宏 哲君(自民)

- ・ 2020年東京オリ・パラ大会におけるメダル獲得目標数をどのように設定されているのか、遠藤国務大臣に伺いたい。
- ・ トップアスリートに対する強化活動支援の予算配分やマイナー競技のアスリートに対する支援の在り方について、馳大臣に伺いたい。
- ・ 科学技術・イノベーション政策を推進するため、第5期科学技術基本計画では、期間中の政府研究開発投資について対GDP比1%を目標とするなどとされており評価するが、その実効性についての馳大臣の見解を伺いたい。
- ・ 特別の教科「道徳」において検定教科書を使用する理由について、馳大臣の見解を伺いたい。

神 山 佐 市君(自民)

- ・ 国立大学法人運営費交付金について、限られた資源を効果的に配分することは重要であるが、基礎研究のための基盤の整備を怠るべきではない。国立大学のみならず、公立・私立大学も含め、大学の基礎研究のための基盤の整備のための財源を確保する必要性について、馳大臣の見解を伺いたい。
- ・ 公立学校施設の老朽化対策のうち、特に、生活様式の変化に伴い、和式トイレが使えない児童生徒が多いため、洋式トイレへの改修を早急に行うべきであると考えますが、馳大臣の見解を伺いたい。
- ・ アナログレコードは歴史的資料であり、アーカイブ化を進めるべきと考えますが、文部科学省の対応を伺いたい。

浮 島 智 子君(公明)

- ・ 文部科学省は、不登校児童生徒をどのように認識しているのか。また、子供の学ぶ機会を保障するために、学校に合わない子供たちに安心して学べる多様な環境

を認めることが重要であると考えますが、馳大臣の見解を伺いたい。

- ・ 2月18日にインフルエンザに罹患し高校受験がうまくいかなかったことを苦にして生徒と母親が自殺を図るという痛ましい事件があった。大学や高等学校の入学選抜の際にインフルエンザに罹患した生徒への対応について、文部科学省に伺いたい。高等学校の入学選抜の際の対応を、都道府県だけでなく文部科学省においても検討する必要があると考えますが、馳大臣の見解を伺いたい。
- ・ 学校施設の老朽化対策に関して地方からの要望が強いことについて、文部科学省はどのような対策を取っているのか伺いたい。

郡 和 子君(民維ク)

- ・ 新国立競技場の聖火台の設置場所をめぐる問題の今後の対応について、馳大臣に伺いたい。あわせて、木と緑がコンセプトである新国立競技場の植栽の維持などを含めた具体的な維持管理コストや修繕費について伺いたい。
- ・ 野球賭博に現役選手が関与していた問題について、今後どのように真相解明を進めていくのか馳大臣に伺いたい。
- ・ 東日本大震災の被災地の教職員の加配について、平成7年に発生した阪神・淡路大震災の際には震災から6年後に加配措置が終了してしまったが、被災地の加配は続けるべきだと考えるが、馳大臣に伺いたい。
- ・ 奨学金の返還が、就職や結婚等の生活設計に悪影響を与えていることを踏まえ、現行の奨学金制度の改善に本腰を入れて取り組む必要があると考えますが、馳大臣の見解を伺いたい。

平 野 博 文君(民維ク)

- ・ 「教育は国家百年の大計」と言われていることを踏まえ、馳大臣が想定する30年後の我が国の姿を伺いたい。

- ・過去30年で学校教育現場の環境が大きく変化したことを踏まえると、教職員定数の在り方については、将来の教育環境を見据えて議論する必要があると考えるが、馳大臣の見解を伺いたい。
- ・新国立競技場の整備を進めるに当たり、聖火台の設置場所については念頭になかったのではないかと考えるが、遠藤国務大臣の見解を伺いたい。
- ・民主党政権時において、高等教育における無償教育の漸進的な導入などを内容とする国際人権A規約第13条2 (b) 及び (c) の規定に係る留保を撤回したことについて、馳大臣の評価を伺いたい。

太田和美君(民維ク)

- ・独立行政法人日本学生支援機構が行う無利子奨学金事業の貸与基準を満たしているが採用されなかった者(残存適格者)や経済的理由により大学進学を断念した者など真に支援が必要な者を救済する方策について、馳大臣に伺いたい。
- ・世界教育フォーラム2015で採択された「仁川宣言」において、教育への公共支出としてGDPの少なくとも4～6%を効果的に措置することを遵守するとされた。我が国は、OECD調査の2011年における公財政教育支出の対GDP比は3.8%であるが、いかにして目標を達成するのか、馳大臣に伺いたい。
- ・社会全体で教育を支えるとの考えに基づき、教育に対する公的負担の充実を図る必要があると考えるが、馳大臣の見解を伺いたい。

坂本祐之輔君(民維ク)

- ・日本人オリンピック・パラリンピアンと児童生徒との交流事業について、馳大臣及び遠藤国務大臣の見解並びに文部科学省の取組を伺いたい。
- ・貧困の連鎖を断ち切るため、幼児教育の充実を図るなどの総合的・抜本的な取組が必要であると考え、馳大臣の見解を伺いたい。

松田直久君(民維ク)

- ・我が国の教育における強みと弱みについて、馳大臣の認識を伺いたい。
- ・昨年12月における中央教育審議会の三つの答申の内容を具体化させるために策定された「次世代の学校・地域」創生プラン(馳プラン)における子供の貧困対策の位置付け及びコミュニティスクール指定推進の取組について馳大臣に伺いたい。
- ・馳大臣の所信演説において、スポーツのフェアプレー精神には高い教育効果がある旨述べたことに関し、ル

ールを守り、相手を尊重するフェアプレーの精神は、スポーツの場面に限らず日常生活においても必要なものだと考えるが、馳大臣の見解を伺いたい。

大平喜信君(共産)

- ・選挙運動、政治活動及び政治的活動という用語の定義について総務省及び文部科学省に伺いたい。また、文部科学省の平成27年10月の通知では、政治的活動という用語を用いているが、これは政治活動という用語と同じ意味のものか馳大臣に伺いたい。
- ・文部科学省の通知では、満18歳以上の生徒の選挙運動が可能になったことについて学校側は尊重するとしている一方で、学業や生活に支障が出る場合等には禁止または制限等の指導を行うとの記述もあり、矛盾するのではないかと考えるが馳大臣の見解を伺いたい。
- ・高校生の学校外での活動の一つ一つが政治活動か否かはどのように判断されるのか文部科学省に伺いたい。
- ・高校生が学校外での政治活動を行う際、活動の日時、場所、名称等を学校に届出させることは、日本国憲法の規定する思想信条の自由を脅かすものではないかと考えるが馳大臣の見解を伺いたい。
- ・広島県呉市の平成28年度の教科書採択の過程において使用された資料に誤りがあったことが市民有志の公文書公開請求によって発覚し、3月3日に臨時教育委員会が開催され対応が協議されたが、その内容及び教科書採択の透明性について馳大臣に伺いたい。

伊東信久君(おおさか)

- ・授業料無償化の範囲を大阪市の取組に倣い、小学校入学前及び高校段階に拡大させる必要性についての馳大臣の見解を伺いたい。
- ・ドーピング禁止薬物についての情報をアスリートや関係者に周知徹底させることの重要性について馳大臣の見解を伺いたい。
- ・2020年東京オリ・パラ大会における、会場の暑さ対策及び熱中症予防策について遠藤国務大臣に伺いたい。

吉川元君(社民)

- ・財務省財政制度等審議会の「平成28年度予算の編成等に関する建議」における、効果の現れない施策が子供達に借金の付けを回すことを教育政策の責任者は十分に認識すべきといった旨の記載に対する馳大臣の見解を伺いたい。
- ・教育予算の拡充が出生率改善につながるとの見解に対する財務省の見解を伺いたい。